

3日 土曜

列王Ⅱ

18:26 ヒルキヤの子エルヤキムとシェブナとヨアフは、ラブ・シャケに言った。「どうか、しもべたちにはアラム語で話してください。われわれはアラム語が分かりますから。城壁の上にいる民が聞いているところでは、われわれにユダのことばで話さないでください。」

18:27 ラブ・シャケは彼らに言った。「私の主君がこれらのことを告げに私を遣わされたのは、おまえの主君や、おまえのためだろうか。むしろ、城壁の上に座っている者たちのためではないか。彼らはおまえたちと一緒に、自分の糞を食らい、自分の尿を飲むようになるのだ。」

18:28 ラブ・シャケは突っ立って、ユダのことばで大声で叫んで、こう告げた。「大王、アッシリアの王のことばを聞け。」

18:29 王はこう言っておられる。『ヒゼキヤにごまかされるな。あれは、おまえたちを私の手から救い出すことができないからだ。』

18:30 ヒゼキヤは、「【主】が必ずわれわれを救い出してください。この都は決してアッシリアの王の手に渡されることはない」と言っておまえたちに【主】を信頼させようとするが、そうはさせない。』

18:31 ヒゼキヤの言うことを聞くな。アッシリアの王はこう言っておられるからだ。『私と和を結び、私に降伏せよ。そうすれば、おまえたちはみな、自分のぶどうと自分のいちじくを食べ、自分の井戸の水を飲めるようになる。』

18:32 その後私は来て、おまえたちの国と同じような国におまえたちを連れて行く。そこ



は穀物と新しいぶどう酒の地、パンとぶどう畑の地、オリーブの木と蜜の地である。おまえたちが生き延びて死ぬことのないようにするためである。たとえヒゼキヤが、「【主】はわれわれを救い出してください」と言っておまえたちをそそのかしても、ヒゼキヤに聞き従ってはならない。

18:33 国々の神々は、それぞれ自分の国をアッシリアの王の手から救い出しただろうか。

18:34 ハマテやアルパデの神々は今、どこにいるのか。セファルワウムやヘナやイワの神々はどこにいるのか。彼らはサマリアを私の手から救い出したか。

18:35 国々のすべての神々のうち、だれが自分たちの国を私の手から救い出したか。

【主】がエルサレムを私の手から救い出せるとでもいうのか。』

18:36 民は黙って、彼に一言も答えなかった。「彼に答えるな」というのが、王の命令だったからである。

18:37 ヒルキヤの子である宮廷長官エルヤキム、書記シェブナ、アサフの子である史官ヨアフは、自分たちの衣を引き裂いてヒゼキヤのもとに行き、ラブ・シャケのことばを告げた。

主が弱小の国であるユダを通して栄光を表されたのは、その解決と勝利が主ご自身の手によるものであることを、明らかにするためです。それはすべての時代の者への教えです。すなわち人は、死と罪の前には全く弱小者だからです。

またサタンの策略と惑わしの前には、人は無力なものです。その惑わしはまさにラブ・シャケのことばのようであり、信仰は「ごまかし」とし、神に背くなら「生きながらえて死なない」と誘惑し、

神に従っても「主が…救い出すとでもいうのか」と、神への信頼を揺るがすようなことを、心の内にささやいてくるのです。

「彼に（サタンに）答えるな。」というのには有効な対処です。すべての領域でサタンとの決別を宣言し、関係を断ち切りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

